Delay Stream Relief

コンクリート流動遅延剤

株式会社　ケミウスジャパン

http://chemiusjapan.co.jp

本　社　〒651-1502　神戸市北区道場町塩田 2303-2
TEL:078-985-0039　FAX:078-985-0036

関東支店　〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-14-2　JRE 池袋 2 丁目ビル 2F
TEL:03-5953-1782　FAX:03-5953-8966

技術研究所／工場　京畿道廣州市昆岩池邑五香里 166-4

＜概要＞

本商品はフレッシュコンクリートの状態改善及び、スランプロス、硬化現象等の状態から品質を劣化させる事なく迅速に遅延と流動性を向上・回復させる商品である。

＜性能＞　(JIS A 6204 コンクリート用化学混和剤)に適合

DSR（標準タイプ）

項目		JIS6204 による　規定値	試験結果		合・不判定
			基準コンクリート	試験コンクリート	
PH		JIS Z 8802	－	5.2	適合
比重(20℃)		JIS0061	－	1.054	適合
スランプ(cm)	ベースコンクリート	8±1	8.5	－	適合
	流動化コンクリート	20±1	－	20.5	適合
空気量(%)	ベースコンクリート	4.5±0.5	4.6	－	適合
	流動化コンクリート	4.5±0.5	－	4.8	適合
ブリージングの差(cm^3/cm^2)		0.2 以下	－	0.035	適合
凝結時間の差（分）	初期凝結	−60～+90	－	+35	適合
	終期凝結	−60～+90	－	+45	適合
時間経過による(15 分)スランプ量(cm)		4 以下	－	1.5	適合
時間による(15 分)空気量の減少(%)		1.0 以内	－	0.4	適合
圧縮強度の比(%)	3 日	90 以上	100	98	適合
	7 日	90 以上	100	99	適合
	28 日	90 以上	100	100	適合
長さの変化比(%)	28 日	120 以下	－	102	適合
	6 ヶ月	120 以下	－	102	適合
凍結融解に対する抵抗性(%)		60 以上	－	97	適合
塩化物イオン量(kg/m^3)		0.02 以下		0.01 以下	適合
全体のアルカリ量(kg/m^3)		0.3 以下	－	0.03	適合

DSR-S（遅延タイプ）

項目		JIS6204 による　規定値	試験結果		合・不判定
			基準コンクリート	試験コンクリート	
PH		JIS Z 8802	－	5.2	適合
比重(20℃)		JIS0061	－	1.058	適合
スランプ(cm)	ベースコンクリート	8±1	8.5	－	適合
	流動化コンクリート	20±1	－	20.5	適合
空気量(%)	ベースコンクリート	4.5±0.5	4.6	－	適合
	流動化コンクリート	4.5±0.5	－	4.8	適合
ブリージングの差(cm^3/cm^2)		0.2 以下	－	0.04	適合
凝結時間の差（分）	初期凝結	+60～+210	－	+60	適合
	終期凝結	0～+210	－	+80	適合
時間経過による(15 分)スランプ量(cm)		4 以下	－	1.0	適合
時間による(15 分)空気量の減少(%)		1.0 以内	－	0.4	適合
圧縮強度の比(%)	3 日	90 以上	100	94	適合
	7 日	90 以上	100	96	適合
	28 日	90 以上	100	98	適合
長さの変化比(%)	28 日	120 以下	－	102	適合
	6 ヶ月	120 以下	－	102	適合
凍結融解に対する抵抗性(%)		60 以上	－	97	適合
塩化物イオン量(kg/m^3)		0.02 以下		0.01 以下	適合
全体のアルカリ量(kg/m^3)		0.3 以下	－	0.03	適合

＜価格・荷姿＞

定価：¥18,000 (送料別)

荷姿:容量　20kg/PE 缶
サイズ：縦　38cm
横　22cm
奥行　31cm

＜適用例　1＞（コンクリート添加）

使用方法

セメント量に対しての本製品の添加量	一般コンクリート（40MPa 以下）	高強度コンクリート（40MPa 以上）
製品名	規定量	
DSR(標準タイプ)	1.0%	1.2%
DSR-S（遅延タイプ）	0.5%	0.7%

・上記の通り計量、投入し攪拌する。攪拌時間は以下の通り。

生コンクリート数量によって攪拌時間は異なる。

生コンクリート数量	攪拌時間
1㎥	1分
2㎥	2分
3～4㎥	3分

※必ず原液で使用する事。水との併用は厳禁。

・コンクリート納品書記載のセメント量・数量を確認の上、コンクリートミキサー車へ

DSR を使用方法（上記）の通り計量・投入・攪拌し使用する。

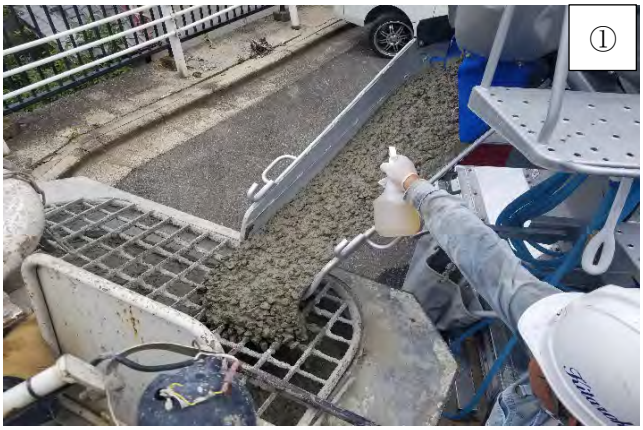
コンクリートミキサー車へ投入

＜適用例　2　＞(コンクリートポンプ車)

原液のままホッパー内に均一に吹きかけホッパーブレードにて、撹拌して下さい。

※注意-水との併用不可

・通し作業及び打設時



DSR を生コン車のシュート部へ噴霧

DSR をホッパーへ吹きかけ撹拌する

ポッパーブレードが届かないコーナー部分のコンクリートは、ケレン棒等で中央に寄せて撹拌する

噴霧　前

噴霧　後

・コンクリート待ち時

DSR をホッパーへ吹きかけ撹拌する

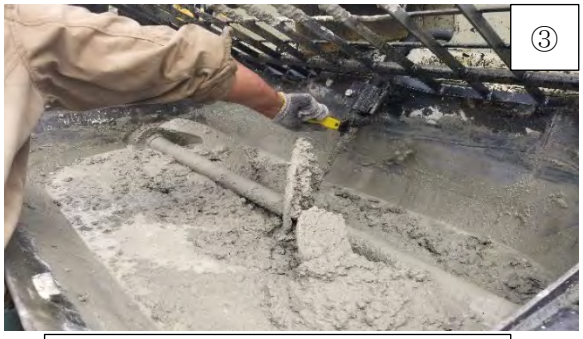
➡

➡

先端ホースをホッパーへセットし、コンクリートを圧送させる。ブーム内のコンクリートをホッパーへ循環させ、DSR を噴霧し、撹拌する

・抜き作業時

DSR をホッパーへ吹きかける。噴霧前



ホッパー外側も簡単に剥がせる

噴霧後